

就労継続支援A型 基本報酬に関する届出書
及び自己評価結果等の公表に係る届出書

1 事業所情報

事業所番号	4016700380									
事業所名称	未来サポートステーション北九州（お食事処 遊心）									
事業の種別	●	就労継続支援A型	指定年月日	H20	年	2	月	1	日	

2 公表状況

公表の有無	●	有	無	公表年月日	2021	年	4	月	20	日
公表方法 (該当するものに●)	●	ホームページに掲載 (アドレスを記載してください)								
		URL	http://www.mirai-support-station.com/							
	その他 (具体的な方法を記載してください)									
		具体的な方法								

3 基本報酬算定区分

※以下自動入力。

評価点合計

	170点以上
	150点以上170点未満
	130点以上150点未満
○	105点以上130点未満
	80点以上105点未満
	60点以上80点未満
	60点未満
	なし（経過措置対象）

評価事項	評価内容	スコア
I 労働時間	四時間以上四時間三十分未満	40
II 生産活動	各年度における生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賃金の総額以上でない	5
III 多様な働き方	合計点が八点以上である	35
IV 支援力向上のための取組	合計点が六点又は七点である	25
V 地域連携活動	実施あり	10

スコア合計（評価点） **115** 点

備考 ・ パソコン等の不具合等で、やむを得ず、一時的にインターネット以外の方法により公表している場合は、会報等を添付した上で、会報等の配布先、公表先を記載の上、現に公表されている箇所の写真を添付し提出してください。また、早急にインターネット上での公表が行われなかった場合、減算となる可能性があります。

- 自己評価結果等の公表にあたっては、別添 4 2 - 1 の各様式を用いて行ってください。地域貢献活動の報告書の公表については、別添 4 2 - 2 の様式を使用してください。

就労継続支援A型事業所におけるスコア表（全体）

事業所名	未来サポートステーション北九州（お食事処 遊心）
住所	北九州市門司区吉志一丁目33番10号
電話番号	093-342-9306

事業所番号	4016700380
管理者名	馴松 和己
対象年度	令和2年度

(I) 労働時間		40	点
①1日の平均労働時間が7時間以上			
②1日の平均労働時間が6時間以上7時間未満			
③1日の平均労働時間が5時間以上6時間未満			
④1日の平均労働時間が4時間30分以上5時間未満			
⑤1日の平均労働時間が4時間以上4時間30分未満	○		
⑥1日の平均労働時間が3時間以上4時間未満			
⑦1日の平均労働時間が2時間以上3時間未満			
⑧1日の平均労働時間が2時間未満			
①80点 ②70点 ③55点 ④45点 ⑤40点 ⑥30点 ⑦20点 ⑧5点			

(II) 生産活動		5	点
①前々年度及び前年度において生産活動収支が利用者に支払う賃金の総額以上			
②前年度において生産活動収支が利用者に支払う賃金の総額以上			
③前年度において生産活動収支が利用者に支払う賃金の総額未満			
④前々年度及び前年度において生産活動収支が利用者に支払う賃金の総額未満	○		
①40点 ②25点 ③20点 ④5点			

(III) 多様な働き方（※）		35	点
①免許・資格取得、検定の受検助奨に関する制度			
就業規則等で定めている			
就業規則等で定めており、前年度の実績がある	○		
②利用者を職員として発用する制度			
就業規則等で定めている			
就業規則等で定めており、前年度の実績がある	○		
③在宅勤務に係る労働条件及び勤務規律			
就業規則等で定めている	○		
就業規則等で定めており、前年度の実績がある			
④フレックスタイム制に係る労働条件			
就業規則等で定めている	○		
就業規則等で定めており、前年度の実績がある			
⑤短時間勤務に係る労働条件			
就業規則等で定めている			
就業規則等で定めており、前年度の実績がある			
⑥時差出勤制度に係る労働条件			
就業規則等で定めている			
就業規則等で定めており、前年度の実績がある			
⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度			
就業規則等で定めている			
就業規則等で定めており、前年度の実績がある			
⑧傷病休暇等の取得に関する事項			
就業規則等で定めている			
就業規則等で定めており、前年度の実績がある	○		
小計（注1）		8	

（※）任意の5項目を選択すること (注1) 8以上:35点、6~7:25点、1~5:15点

(IV) 支援力向上（※）		25	点
①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会			
参加した職員が1人以上であった			
参加した職員が半数以上であった	○		
②研修、学会等又は学会誌等において発表			
1回の場合			
2回以上の場合	○		
③視察・実習の実施又は受け入れ			
どちらか一方のみの取組を行っている			
いずれの取組も行っている	○		
④販路拡大の商談会等への参加			
1回の場合			
2回以上の場合			
⑤職員の人事評価制度			
人事評価結果に基づき定期に昇給を判定する制度を設け、全ての職員に周知している			
⑥ピアサポーターの配置			
ピアサポーターを職員として配置している			
⑦第三者評価			
過去3年以内の福祉サービス第三者評価を受審しており、結果を公表している。			
⑧ISOが制定したマネジメント規格等の認証等			
都道府県知事が適当と認めるISOが定めた規格その他これに準ずるもの認証を受けている			
小計（注2）		6	

（※）任意の5項目を選択すること (注2) 8以上:35点、6~7:25点、1~5:15点

(V) 地域連携活動		10	点
地域の事業者と連携した付加価値の高い商品開発、企業や官公庁等での生産活動等地域社会と連携した活動を行い、その結果をインターネット等により公表している	○		
1事例以上ある場合:10点			

項目	点数									合計
	5点	20点	30点	40点	45点	55点	70点	80点	40	
労働時間				40点						40
生産活動	5点		20点		25点		40点			5
多様な働き方	0点		15点		25点		35点			35
支援力向上	0点		15点		25点		35点			25
地域連携活動	0点				10点					10

合計	
115	
点 / 200点	

指定就労継続支援A型事業所におけるスコア表(個別項目)

I 平均労働時間 40 点

実績として評価する年度 令和2 年度

月	延べ労働時間数	延べ利用者数
4月	3204 時間	800 人
5月	3330 時間	832 人
6月	3106 時間	776 人
7月	3084 時間	770 人
8月	3074 時間	763 人
9月	3070 時間	723 人
10月	2892 時間	746 人
11月	2884 時間	721 人
12月	3028 時間	756 人
1月	2896 時間	724 人
2月	2572 時間	623 人
3月	2982 時間	745 人
合計	36122 時間	8979 人

評価内容			スコア
就労継続支援A型等のあった日の属する年度の前年度(以下、「前年度」という)において、当該就労継続支援A型事業所等と雇用契約を締結していた利用者の当該就労継続支援A型事業所等における労働時間の合計数を当該利用者の合計数で除して算出した、当該就労継続支援A型事業所等における一日当たりの平均労働時間数			
一	七時間以上		80
二	六時間以上七時間未満		70
三	五時間以上六時間未満		55
四	四時間三十分以上五時間未満		45
○ 五	四時間以上四時間三十分未満		40
六	三時間以上四時間未満		30
七	二時間以上三時間未満		20
八	二時間未満		5
1日の平均労働時間数 (延べ労働時間数÷延べ利用者数)		4.0	時間

II 生産活動 5 点

実績として評価する年度 令和元 年度及び 平成30 年度

		生産活動収入 (A)	生産活動に係る経費 (B)	生産活動収支 (A)-(B)=(C)	利用者賃金総額 (D)
令和元	年度	37,976,007	12,052,836	25,923,171	34,484,465
平成30	年度	26,618,276	10,284,227	16,334,049	35,206,956

評価内容	スコア
前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支(生産活動に係る事業の収入から生産活動に係る事業に必要な経費を控除した額に相当する金額)	
一 各年度における生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賃金の総額以上である	40
二 前年度における生産活動収支のみが前年度に利用者に支払う賃金の総額以上である	25
三 前々年度における生産活動収支のみが前々年度に利用者に支払う賃金の総額以上である	20
○ 四 各年度における生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賃金の総額以上でない	5

Ⅲ 多様な働き方

35 点

就業規則その他これに準ずるものにより、次のイからチまでに掲げる利用者に関する事項を定めていることをそれぞれ一点として算定した合計点(五点を限度とし、前年度において、その算定した点数に係る当該事項を、利用者の希望に基づき講じた場合には、その講じた事項ごとに一点を加算した点数とする。以下この事項において単に「合計点」という。)

※任意の5項目を選択 ※取組の具体的な内容について記入

イ	①免許・資格取得、検定の受検動奨に関する制度		取組の具体的な内容
	○	1 就業規則等で定めている	◎免許・資格取得、検定の受検動奨に関する制度を活用した人数2名 ※取得を進めた免許等：普通運転免許 ボイラー技士 制度の活用内容：
		2 就業規則等で定めており、前年度の実績がある	
	0 実績なし		
ロ	②利用者を職員として登用する制度		取組の具体的な内容
	○	1 就業規則等で定めている	◎職員として登用した人数1名 ◎うち1名は雇用継続期間が6月に達している ◎うち1名は前年度末日まで雇用継続している ※登用した日 2年 4月 1日 勤務形態：職業指導員 就業時間：10時00分～15時00分 職業内容：利用者の職業指導
		2 就業規則等で定めており、前年度の実績がある	
	0 実績なし		
ハ	③在宅勤務に係る労働条件及び勤務規律		取組の具体的な内容
	○	1 就業規則等で定めている	
		2 就業規則等で定めており、前年度の実績がある	
	0 実績なし		
ニ	④フレックスタイム制に係る労働条件		取組の具体的な内容
	○	1 就業規則等で定めている	
		2 就業規則等で定めており、前年度の実績がある	
	0 実績なし		
ホ	⑤短時間勤務に係る労働条件		取組の具体的な内容
		1 就業規則等で定めている	
		2 就業規則等で定めており、前年度の実績がある	
	0 実績なし		
ヘ	⑥時差出勤制度に係る労働条件		取組の具体的な内容
		1 就業規則等で定めている	
		2 就業規則等で定めており、前年度の実績がある	
	0 実績なし		
ト	⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度		取組の具体的な内容
		1 就業規則等で定めている	
		2 就業規則等で定めており、前年度の実績がある	
	0 実績なし		
チ	⑧傷病休暇等の取得に関する事項		取組の具体的な内容
	○	1 就業規則等で定めている	◎傷病休暇等を取得した人数 2名 ※取得した内容 手術による休暇/病氣入院 取得した期間：9月15日～9月30日 取得した期間：9月15日～9月30日
		2 就業規則等で定めており、前年度の実績がある	
	0 実績なし		

合計点 8 点

評価内容	合計点に応じてスコアを判定	スコア
○	一 合計点が八点以上である	35
	二 合計点が六点又は七点である	25
	三 合計点が一点以上五点以下である	15

IV 支援力向上のための取組

25 点

前年度(トに該当する場合にあっては、当該前年度の末日から起算して過去三年間)において、次のイからチまでのうち五つの項目に該当する場合に応じ、それぞれ当該項目に定めるところにより算定した点数(以下この事項において「合計点」という。) **※任意の5項目を選択 ※取組の具体的な内容について記入**

イ	①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会		取組の具体的な内容
	1	参加した職員が1人以上であった	◎研修実施回数外部 6回/内部 1回 対象職員数 11人 うち研修受講者数 7人 研修名:組織力と売り上げ向上 研修講師:縄田 清高氏 実施日・受講者数5月9日7人
	○ 2	参加した職員が半数以上であった	
0	実績なし		
ロ	②研修、学会等又は学会誌等において発表		取組の具体的な内容
	1	1回の場合	発表している回数2回 ※研修:就労継続支援A型事業所全国協議会主催ヤマト福祉財団助成事業全Aネット就労支援セミナーin東京 実施日3月3日 ※研修:沖縄A型ネットワーク主催 ちやーすがA型!報酬改定! 実施日3月4日
	○ 2	2回以上の場合	
0	実績なし		
ハ	③視察・実習の実施又は受け入れ		取組の具体的な内容
	1	どちらか一方のみの取組を行っている	※先進的事業者名 長崎県佐世保市 オーダリー 実施日/参加者数8月11日4人 ※他の事業所名 北九州第二あゆみの里 実施日/参加者数4月7日 20人
	○ 2	いずれの取組も行っている	
0	実績なし		
ニ	④販路拡大の商談会等への参加		取組の具体的な内容
	1	1回の場合	
	2	2回以上の場合	
○ 0	実績なし		
ホ	⑤職員の人事評価制度		取組の具体的な内容
	2	人事評価結果に基づき定期に昇給を判定する制度を設け、全ての職員に周知している	
	○ 0	実績なし	
⑥ピアサポーターの配置		取組の具体的な内容	
ヘ	2	ピアサポーターを職員として配置している	
	0	実績なし	
	⑦第三者評価		
ト	2	過去3年以内の福祉サービス第三者評価を受審しており、結果を公表している。	
	0	実績なし	
	⑧ISOが制定したマネジメント規格等の認証等		
チ	2	都道府県知事が適当と認めるISOが定めた規格その他これに準ずるもの認証を受けている	
	0	実績なし	

合計点 6 点

評価内容	合計点に応じてスコアを判定	スコア
—	合計点が八点以上である	35
○	合計点が六点又は七点である	25
三	合計点が一点以上五点以下である	15

V 地域連携活動

10 点

※「公表方法」、各要件の「有」の合計4つに●をつけた場合にのみスコアが表示

評価内容				
前年度において、当該就労継続支援A型事業所等が地域の事業者と連携した付加価値の高い商品開発、企業若しくは官公庁等での就労又は生産活動その他の地域社会と連携した活動を行い、当該活動の内容及び当該活動に対する当該事業者又は当該企業若しくは官公庁等の意見を記載した報告書を作成し、インターネットの利用その他の方法により公表していること。				
報告書の作成	○	有	無	※次ページに添付
企業等からの意見等	○	有	無	
公表の有無	○	有	無	
公表方法	○	ホームページに掲載 (アドレスを記載してください)		
		URL	http://www.mirai-support-station.com/	
		その他 (具体的な方法を記載してください)		
		具体的な方法		

就労継続支援 A 型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	未来サポートステーション北九州
住 所	北九州市門司区吉志 1 丁目 3 3 番 1 0 号
電話番号	093-481-3456

事業所番号	4017600380
管理者名	宮本 千栄
対象年度	令和二年度

地域連携活動の概要	
<p><活動内容></p> <p style="text-align: center;">下吉志公園清掃 松が江南校区敬老会やイベント参加 まつがえ荘 食堂</p> <p style="text-align: center;">利用者延べ 1 5 名参加</p>	<p><活動の様子></p> <p style="text-align: center;">別紙 1 別紙 2</p>
<p><目的></p> <p style="text-align: center;">地域との交流 地域の困ったことのお手伝い 利用者の就労技術の向上</p>	
<p><成果></p> <p style="text-align: center;">利用者の就労意欲の向上 北九州市自治会活動応援事業者表彰 利用者の態度の面で向上</p>	

連携先の企業等の意見または評価			
別紙 3			
連携先企業名	松ヶ江南校区自治連合会	担当者名	松本 征幸

就労継続支援A型 基本報酬に関する届出書
及び自己評価結果等の公表に係る届出書

1 事業所情報

事業所番号	4017600380									
事業所名称	未来サポートステーション北九州									
事業の種別	●	就労継続支援A型	指定年月日	2008	年	2	月	1	日	

2 公表状況

公表の有無	●	有	無	公表年月日	2022	年	5	月	1	日
公表方法 (該当するものに●)	●	ホームページに掲載 (アドレスを記載してください)								
		URL	http://www.mirai-support-station.com/							
	その他 (具体的な方法を記載してください)									
		具体的な方法								

3 基本報酬算定区分

※以下自動入力。

評価点合計

	170点以上
●	150点以上170点未満
	130点以上150点未満
	105点以上130点未満
	80点以上105点未満
	60点以上80点未満
	60点未満
	なし (経過措置対象)

評価事項	評価内容	スコア
I 労働時間	四時間以上四時間三十分未満	40
II 生産活動	各年度における生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賃金の総額以上である	40
III 多様な働き方	合計点が八点以上である	35
IV 支援力向上のための取組	合計点が八点以上である	35
V 地域連携活動	実施あり	10

スコア合計 (評価点) **160** 点

備考 ・ パソコン等の不具合等で、やむを得ず、一時的にインターネット以外の方法により公表している場合は、会報等を添付した上で、会報等の配布先、公表先を記載の上、現に公表されている箇所の写真を添付し提出してください。また、早急にインターネット上での公表が行われなかった場合、減算となる可能性があります。

- 自己評価結果等の公表にあたっては、別添 4 2 - 1 の各様式を用いて行ってください。地域貢献活動の報告書の公表については、別添 4 2 - 2 の様式を使用してください。

就労継続支援 A 型事業所におけるスコア表 (全体)

事業所名	未来サポートステーション北九州
住所	北九州市門司区吉志一丁目 3 3 番 1 0 号
電話番号	093-481-3456

事業所番号	4017600380
管理者名	宮本 千栄
対象年度	令和 3 年度

(I) 労働時間		40	点
①1日の平均労働時間が7時間以上			
②1日の平均労働時間が6時間以上7時間未満			
③1日の平均労働時間が5時間以上6時間未満			
④1日の平均労働時間が4時間30分以上5時間未満			
⑤1日の平均労働時間が4時間以上4時間30分未満	●		
⑥1日の平均労働時間が3時間以上4時間未満			
⑦1日の平均労働時間が2時間以上3時間未満			
⑧1日の平均労働時間が2時間未満			
①80点 ②70点 ③55点 ④45点 ⑤40点 ⑥30点 ⑦20点 ⑧5点			

(II) 生産活動		40	点
①前々年度及び前年度において生産活動収支が利用者に支払う賃金の総額以上	●		
②前年度において生産活動収支が利用者に支払う賃金の総額以上			
③前年度において生産活動収支が利用者に支払う賃金の総額未満			
④前々年度及び前年度において生産活動収支が利用者に支払う賃金の総額未満			
①40点 ②25点 ③20点 ④5点			

(III) 多様な働き方 (※)		35	点
◎ ①免許・資格取得、検定の受検助奨に関する制度			
就業規則等で定めている			
就業規則等で定めており、前年度の実績がある	●		
②利用者を職員として登用する制度			
就業規則等で定めている	●		
就業規則等で定めており、前年度の実績がある			
③在宅勤務に係る労働条件及び勤務規律			
就業規則等で定めている			
就業規則等で定めており、前年度の実績がある			
④フレックスタイム制に係る労働条件			
就業規則等で定めている			
就業規則等で定めており、前年度の実績がある			
⑤短時間勤務に係る労働条件			
就業規則等で定めている			
就業規則等で定めており、前年度の実績がある			
⑥時差出勤制度に係る労働条件			
就業規則等で定めている	●		
就業規則等で定めており、前年度の実績がある			
⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度			
就業規則等で定めている			
就業規則等で定めており、前年度の実績がある	●		
⑧傷病休暇等の取得に関する事項			
就業規則等で定めている			
就業規則等で定めており、前年度の実績がある	●		
小計 (注1)	8		
◎ (※) 任意の 5 項目を選択すること (注1) 8 以上 : 35 点、6 ~ 7 : 25 点、1 ~ 5 : 15 点			

(IV) 支援力向上 (※)		35	点
◎ ①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会			
参加した職員が1人以上であった			
参加した職員が半数以上であった	●		
②研修、学会等又は学会誌等において発表			
1回の場合			
2回以上の場合	●		
◎ ③視察・実習の実施又は受け入れ			
どちらか一方のみの取組を行っている			
いずれの取組も行っている	●		
④販路拡大の商談会等への参加			
1回の場合	●		
2回以上の場合			
⑤職員の人事評価制度			
人事評価結果に基づき定期に昇給を判定する制度を設け、全ての職員に周知している	●		
⑥ピアサポーターの配置			
ピアサポーターを職員として配置している			
⑦第三者評価			
過去3年以内の福祉サービス第三者評価を受審しており、結果を公表している。			
⑧ISOが制定したマネジメント規格等の認証等			
都道府県知事が適当と認めるISOが定めた規格その他これに準ずるもの認証を受けている			
小計 (注2)	9		
(※) 任意の 5 項目を選択すること (注2) 8 以上 : 35 点、6 ~ 7 : 25 点、1 ~ 5 : 15 点			

(V) 地域連携活動		10	点
地域の事業者と連携した付加価値の高い商品開発、企業や官公庁等での生産活動等地域社会と連携した活動を行い、その結果をインターネット等により公表している	●		
1事例以上ある場合 : 10点			

項目	点数								合計
	5点	20点	30点	40点	45点	55点	70点	80点	
労働時間				40点					40
生産活動			20点		25点		40点		40
多様な働き方	0点		15点		25点		35点		35
支援力向上	0点		15点		25点		35点		35
地域連携活動	0点			10点					10

合計	160	点	/ 200点
----	-----	---	--------

指定就労継続支援A型事業所におけるスコア表(個別項目)

I 平均労働時間 40 点

実績として評価する年度 年度

月	延べ労働時間数	延べ利用者数
4月	3067 時間	758 人
5月	3268 時間	813 人
6月	3192 時間	786 人
7月	3279 時間	810 人
8月	3224.5 時間	793 人
9月	2962 時間	729 人
10月	3225.3 時間	793 人
11月	3208 時間	789 人
12月	3394 時間	836 人
1月	3378.8 時間	836 人
2月	2834.5 時間	709 人
3月	3188 時間	803 人
合計	38221.1 時間	9455 人

評価内容			スコア
就労継続支援A型等のあった日の属する年度の前年度(以下、「前年度」という)において、当該就労継続支援A型事業所等と雇用契約を締結していた利用者の当該就労継続支援A型事業所等における労働時間の合計数を当該利用者の合計数で除して算出した、当該就労継続支援A型事業所等における一日当たりの平均労働時間数			
一	七時間以上		80
二	六時間以上七時間未満		70
三	五時間以上六時間未満		55
四	四時間三十分以上五時間未満		45
●	四時間以上四時間三十分未満		40
六	三時間以上四時間未満		30
七	二時間以上三時間未満		20
八	二時間未満		5
1日の平均労働時間数 (延べ労働時間数÷延べ利用者数)		4.0	時間

II 生産活動 40 点

実績として評価する年度 年度及び 年度

		生産活動収入 (A)	生産活動に係る経費 (B)	生産活動収支 (A)-(B)=(C)	利用者賃金総額 (D)
令和3	年度	46,728,180	9,578,235	37,149,945	33,171,499
令和2	年度	44,666,113	10,271,460	34,394,653	31,146,142

※ 経営実態調査時に提出した同年度の「生産活動収支報告書」の内容と一致しているか確認してください。

評価内容		スコア
●	一 各年度における生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賃金の総額以上である	40
	二 前年度における生産活動収支のみが前年度に利用者に支払う賃金の総額以上である	25
	三 前々年度における生産活動収支のみが前々年度に利用者に支払う賃金の総額以上である	20
	四 各年度における生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賃金の総額以上でない	5

Ⅲ 多様な働き方

35 点

就業規則その他これに準ずるものにより、次のイからチまでに掲げる利用者に関する事項を定めていることをそれぞれ一点として算定した合計点(五点を限度とし、前年度において、その算定した点数に係る当該事項を、利用者の希望に基づき講じた場合には、その講じた事項ごとに一点を加算した点数とする。以下この事項において単に「合計点」という。)

※任意の5項目を選択 ※取組の具体的な内容について記入

イ	◎	①免許・資格取得、検定の受検動奨に関する制度		取組の具体的な内容
	●	1	就業規則等で定めている	◎免許・資格取得、検定の受検動奨に関する制度を活用した人数1名 ※取得を進めた免許等：ポイラー技士 不合格
	●	2	就業規則等で定めており、前年度の実績がある	
	●	0	実績なし	
ロ	●	②利用者を職員として登用する制度		取組の具体的な内容
	●	1	就業規則等で定めている	就業規則で定めている
	●	2	就業規則等で定めており、前年度の実績がある	
	●	0	実績なし	
ハ	●	③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律		取組の具体的な内容
	●	1	就業規則等で定めている	
	●	2	就業規則等で定めており、前年度の実績がある	
	●	0	実績なし	
ニ	●	④フレックスタイム制に係る労働条件		取組の具体的な内容
	●	1	就業規則等で定めている	
	●	2	就業規則等で定めており、前年度の実績がある	
	●	0	実績なし	
ホ	●	⑤短時間勤務に係る労働条件		取組の具体的な内容
	●	1	就業規則等で定めている	
	●	2	就業規則等で定めており、前年度の実績がある	
	●	0	実績なし	
ヘ	●	⑥時差出勤制度に係る労働条件		取組の具体的な内容
	●	1	就業規則等で定めている	◎時差出勤制度を活用した人数3名 ※実施した期間：4月1日～3月31日 就業時間(早出の場合)：9時00分～14時00分 就業時間(遅出の場合)：11時00分～16時00分 職務内容：準備・片付け
	●	2	就業規則等で定めており、前年度の実績がある	
	●	0	実績なし	
ト	●	⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度		取組の具体的な内容
	●	1	就業規則等で定めている	◎時間単位取得を活用した人数30名 ◎計画的付与制度を活用した人数30名 ※取得した制度 有給休暇の時間単位取得 計画的付与制度 取得した期間：4月1日～3月31日 取得日数・時間 5日 20時間
	●	2	就業規則等で定めており、前年度の実績がある	
	●	0	実績なし	
チ	●	⑧傷病休暇等の取得に関する事項		取組の具体的な内容
	●	1	就業規則等で定めている	◎傷病休暇等を取得した人数1名 ※取得した内容：病気による手術 取得した期間：10月1日～10月10日 就業時間：10時00分～15時00分
	●	2	就業規則等で定めており、前年度の実績がある	
	●	0	実績なし	

合計点 8 点

評価内容	合計点に応じてスコアを判定	スコア
●	一 合計点が八点以上である	35
	二 合計点が六点又は七点である	25
	三 合計点が一点以上五点以下である	15

IV 支援力向上のための取組

35 点

前年度(トに該当する場合にあっては、当該前年度の末日から起算して過去三年間)において、次のイからチまでのうち五つの項目に該当する場合に応じ、それぞれ当該項目に定めるところにより算定した点数(以下この事項において「合計点」という。) **※任意の5項目を選択 ※取組の具体的な内容について記入**

イ	◎	①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会	取組の具体的な内容
	1	参加した職員が1人以上であった	◎研修実施回数外部 12回/内部 2回 対象職員数 12人 うち研修受講者数 8人 ※研修名 福岡A型事業所協議会 研修講師 厚生労働省 諏訪林係長他 実施日・受講者数9月18日5人
	●	参加した職員が半数以上であった	
	0	実績なし	
ロ		②研修、学会等又は学会誌等において発表	取組の具体的な内容
	1	1回の場合	発表している回数2回 ※第5回北九州フォーラム 実施日2月19日
	●	2回以上の場合	※全国障害者就労支援ローカルネットワーク 掲載日3月12日 どうなるA型
	0	実績なし	
ハ	◎	③視察・実習の実施又は受け入れ	取組の具体的な内容
	1	どちらか一方のみの取組を行っている	※那珂川キッチン 実施日/参加者数5月15日3人 ※浅野障害者復帰センター 実施日/参加者数1月17日6人
	●	いずれの取組も行っている	
	0	実績なし	
ニ		④販路拡大の商談会等への参加	取組の具体的な内容
	●	1回の場合	※商談会等名 食のフェスティバル 主催者名西原商会 日時8月26日 商品展示会
	2	2回以上の場合	
	0	実績なし	
ホ		⑤職員の人事評価制度	取組の具体的な内容
	●	人事評価結果に基づき定期に昇給を判定する制度を設け、全ての職員に周知している	人事評価制度の制定日4年3月10日 人事評価制度の対象職員数10名 うち昇給・昇格を行った者10名 当該人事評価制度の周知方法 職員会議での通知
	0	実績なし	
ヘ		⑥ピアサポーターの配置	取組の具体的な内容
	2	ピアサポーターを職員として配置している	
	0	実績なし	
ト		⑦第三者評価	取組の具体的な内容
	2	過去3年以内の福祉サービス第三者評価を受審しており、結果を公表している。	
	0	実績なし	
チ		⑧ISOが制定したマネジメント規格等の認証等	取組の具体的な内容
	2	都道府県知事が適当と認めるISOが定めた規格その他これに準ずるもの認証を受けている	
	0	実績なし	

合計点 9 点

評価内容	合計点に応じてスコアを判定	スコア
●	一 合計点が八点以上である	35
	二 合計点が六点又は七点である	25
	三 合計点が一点以上五点以下である	15

V 地域連携活動

10 点



※「公表方法」、各要件の「有」の合計 4 つに●をつけた場合にのみスコアが表示

評価内容				
前年度において、当該就労継続支援 A 型事業所等が地域の事業者と連携した付加価値の高い商品開発、企業若しくは官公庁等での就労又は生産活動その他の地域社会と連携した活動を行い、当該活動の内容及び当該活動に対する当該事業者又は当該企業若しくは官公庁等の意見を記載した報告書を作成し、インターネットの利用その他の方法により公表していること。				
報告書の作成	●	有	無	※次ページに添付
企業等からの意見等	●	有	無	
公表の有無	●	有	無	
公表方法	●	ホームページに掲載 (アドレスを記載してください)		
		URL	http://www.mirai-support-station.com/	
		その他 (具体的な方法を記載してください)		
		具体的な方法		

就労継続支援 A 型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	未来サポートステーション北九州
住 所	北九州市門司区吉志一丁目 3 3 番 1 0 号
電話番号	093-481-3456

事業所番号	4017600380
管理者名	宮本 千栄
対象年度	令和 3 年度

地域連携活動の概要	
<p><活動内容></p> <p>廣石音彦氏の忠霊塔等 四半期に 1 回 草取り等 職員 2 名 利用者数 10 名</p>	<p><活動の様子></p>  
<p><目的></p> <p>地域における交流事業 障害者との交流 技術の向上</p>	
<p><成果></p> <p>仕事回数の増加 事業回数の増加 更なるスピードアップ</p>	

連携先の企業等の意見または評価			
<p>我が社が管理する土地の草刈りをお願いしています。障害者の皆さんにお願いすることに正直不安がありました。そして、最初の頃は、かなり時間がかかっていました。しかし、1 年ほどたった最近では、迅速で丁寧にやっています。廣石音彦氏の忠霊塔については、地域の皆さんによくご利用いただく施設で丁寧な除草に評価をいただいています。こうしたことから、新年度については、4 カ所（年間 2 回）の草刈りをお願いしているところです。今後草刈りだけでなく可能な仕事があれば増やしていきたいと考えています。</p>			
連携先企業名	株式会社ツネミ	担当者名	総務部長 檜原文雄氏

就労継続支援A型 基本報酬に関する届出書
及び自己評価結果等の公表に係る届出書

1 事業所情報

事業所番号	4017600380									
事業所名称	未来サポートステーション北九州									
事業の種別	●	就労継続支援A型	指定年月日	H20	年	2	月	1	日	

2 公表状況

公表の有無	●	有	無	公表年月日	2023	年	5	月	1	日
公表方法 (該当するものに●)	●	ホームページに掲載 (アドレスを記載してください)								
		URL	http://www.mirai-support-station.com/							
	その他 (具体的な方法を記載してください)									
		具体的な方法								

3 基本報酬算定区分

※以下自動入力。

評価点合計

	170点以上
●	150点以上170点未満
	130点以上150点未満
	105点以上130点未満
	80点以上105点未満
	60点以上80点未満
	60点未満
	なし (経過措置対象)

評価事項	評価内容	スコア
I 労働時間	四時間以上四時間三十分未満	40
II 生産活動	各年度における生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賃金の総額以上である	40
III 多様な働き方	合計点が八点以上である	35
IV 支援力向上のための取組	合計点が八点以上である	35
V 地域連携活動	実施あり	10

スコア合計 (評価点) **160** 点

備考 ・ パソコン等の不具合等で、やむを得ず、一時的にインターネット以外の方法により公表している場合は、会報等を添付した上で、会報等の配布先、公表先を記載の上、現に公表されている箇所の写真を添付し提出してください。また、早急にインターネット上での公表が行われなかった場合、減算となる可能性があります。

- 自己評価結果等の公表にあたっては、別添 4 2 - 1 の各様式を用いて行ってください。地域貢献活動の報告書の公表については、別添 4 2 - 2 の様式を使用してください。

就労継続支援 A 型事業所におけるスコア表 (全体)

事業所名	未来サポートステーション北九州
住所	北九州市門司区吉志一丁目 3 3 番 1 0 号
電話番号	093-481-3456

事業所番号	4017600380
管理者名	宮本 千栄
対象年度	令和 4 年度

(I) 労働時間		40	点
①1日の平均労働時間が7時間以上			
②1日の平均労働時間が6時間以上7時間未満			
③1日の平均労働時間が5時間以上6時間未満			
④1日の平均労働時間が4時間30分以上5時間未満			
⑤1日の平均労働時間が4時間以上4時間30分未満	●		
⑥1日の平均労働時間が3時間以上4時間未満			
⑦1日の平均労働時間が2時間以上3時間未満			
⑧1日の平均労働時間が2時間未満			
①80点 ②70点 ③55点 ④45点 ⑤40点 ⑥30点 ⑦20点 ⑧5点			

(II) 生産活動		40	点
①前々年度及び前年度において生産活動収支が利用者に支払う賃金の総額以上	●		
②前年度において生産活動収支が利用者に支払う賃金の総額以上			
③前年度において生産活動収支が利用者に支払う賃金の総額未満			
④前々年度及び前年度において生産活動収支が利用者に支払う賃金の総額未満			
①40点 ②25点 ③20点 ④5点			

(III) 多様な働き方 (※)		35	点
①免許・資格取得、検定の受検助奨に関する制度			
就業規則等で定めている			
就業規則等で定めており、前年度の実績がある	●		
②利用者を職員として発用する制度			
就業規則等で定めている	●		
就業規則等で定めており、前年度の実績がある			
③在宅勤務に係る労働条件及び勤務規律			
就業規則等で定めている			
就業規則等で定めており、前年度の実績がある			
④フレックスタイム制に係る労働条件			
就業規則等で定めている	●		
就業規則等で定めており、前年度の実績がある			
⑤短時間勤務に係る労働条件			
就業規則等で定めている			
就業規則等で定めており、前年度の実績がある			
⑥時差出勤制度に係る労働条件			
就業規則等で定めている			
就業規則等で定めており、前年度の実績がある			
⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度			
就業規則等で定めている			
就業規則等で定めており、前年度の実績がある	●		
⑧傷病休暇等の取得に関する事項			
就業規則等で定めている			
就業規則等で定めており、前年度の実績がある	●		
小計 (注1)		8	

(※) 任意の 5 項目を選択すること (注1) 8 以上 : 35 点、6 ~ 7 : 25 点、1 ~ 5 : 15 点

(IV) 支援力向上 (※)		35	点
①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会			
参加した職員が 1 人以上であった			
参加した職員が半数以上であった	●		
②研修、学会等又は学会誌等において発表			
1 回の場合			
2 回以上の場合	●		
③視察・実習の実施又は受け入れ			
どちらか一方のみの取組を行っている			
いずれの取組も行っている	●		
④販路拡大の商談会等への参加			
1 回の場合			
2 回以上の場合	●		
⑤職員の人事評価制度			
人事評価結果に基づき定期に昇給を判定する制度を設け、全ての職員に周知している			
⑥ピアサポーターの配置			
ピアサポーターを職員として配置している			
⑦第三者評価			
過去 3 年以内の福祉サービス第三者評価を受審しており、結果を公表している。			
⑧ ISO が制定したマネジメント規格等の認証等			
都道府県知事が適当と認める ISO が定めた規格その他これに準ずるもの認証を受けている			
小計 (注2)		8	

(※) 任意の 5 項目を選択すること (注2) 8 以上 : 35 点、6 ~ 7 : 25 点、1 ~ 5 : 15 点

(V) 地域連携活動		10	点
地域の事業者と連携した付加価値の高い商品開発、企業や官公庁等での生産活動等地域社会と連携した活動を行い、その結果をインターネット等により公表している	●		
1 事例以上ある場合 : 10 点			

項目	点数								合計
	5点	20点	30点	40点	45点	55点	70点	80点	
労働時間				40					40
生産活動			20		25		40		40
多様な働き方	0		15		25		35		35
支援力向上	0		15		25		35		35
地域連携活動	0			10					10

合計	
160	点 / 200 点

指定就労継続支援A型事業所におけるスコア表(個別項目)

I 平均労働時間 40 点

実績として評価する年度 年度

月	延べ労働時間数	延べ利用者数
4月	3114 時間	765 人
5月	3214 時間	790 人
6月	3018 時間	741 人
7月	3116 時間	768 人
8月	3045 時間	750 人
9月	2918.5 時間	719 人
10月	3246.1 時間	800 人
11月	3071.5 時間	759 人
12月	3162 時間	782 人
1月	2946.2 時間	726 人
2月	2663 時間	656 人
3月	3069.1 時間	755 人
合計	36583.4 時間	9011 人

評価内容			スコア
就労継続支援A型等のあった日の属する年度の前年度(以下、「前年度」という)において、当該就労継続支援A型事業所等と雇用契約を締結していた利用者の当該就労継続支援A型事業所等における労働時間の合計数を当該利用者の合計数で除して算出した、当該就労継続支援A型事業所等における一日当たりの平均労働時間数			
一	七時間以上		80
二	六時間以上七時間未満		70
三	五時間以上六時間未満		55
四	四時間三十分以上五時間未満		45
●	四時間以上四時間三十分未満		40
六	三時間以上四時間未満		30
七	二時間以上三時間未満		20
八	二時間未満		5
1日の平均労働時間数 (延べ労働時間数÷延べ利用者数)		4.1	時間

II 生産活動 40 点

実績として評価する年度 令和4 年度及び 令和3 年度

		生産活動収入 (A)	生産活動に係る経費 (B)	生産活動収支 (A)-(B)=(C)	利用者賃金総額 (D)
令和4	年度	45,797,163	11,950,539	33,846,624	32,976,645
令和3	年度	46,728,180	10,689,162	36,039,018	33,171,499

※ 経営実態調査時に提出した同年度の「生産活動収支報告書」の内容と一致しているか確認してください。

評価内容		スコア
前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支(生産活動に係る事業の収入から生産活動に係る事業に必要な経費を控除した額に相当する金額)		
●	一 各年度における生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賃金の総額以上である	40
	二 前年度における生産活動収支のみが前年度に利用者に支払う賃金の総額以上である	25
	三 前々年度における生産活動収支のみが前々年度に利用者に支払う賃金の総額以上である	20
	四 各年度における生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賃金の総額以上でない	5

Ⅲ 多様な働き方

35 点

就業規則その他これに準ずるものにより、次のイからチまでに掲げる利用者に関する事項を定めていることをそれぞれ一点として算定した合計点(五点を限度とし、前年度において、その算定した点数に係る当該事項を、利用者の希望に基づき講じた場合には、その講じた事項ごとに一点を加算した点数とする。以下この事項において単に「合計点」という。)

※任意の5項目を選択 ※取組の具体的な内容について記入

イ	①免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度		取組の具体的な内容
	1	就業規則等で定めている	◎免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度を活用した人数1名 ※取得を進めた免許等：ポイラー2級 制度の活用内容：資格取得支援
	● 2	就業規則等で定めており、前年度の実績がある	
0	実績なし		
ロ	②利用者を職員として登用する制度		取組の具体的な内容
	● 1	就業規則等で定めている	◎職員として登用した人数0名 就業規則で定めている 今年度はなし。過去に実績あり
	2	就業規則等で定めており、前年度の実績がある	
0	実績なし		
ハ	③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律		取組の具体的な内容
	1	就業規則等で定めている	
	2	就業規則等で定めており、前年度の実績がある	
0	実績なし		
ニ	④フレックスタイム制に係る労働条件		取組の具体的な内容
	● 1	就業規則等で定めている	就業規則で定めている 今年度はなし。過去に実績あり
	2	就業規則等で定めており、前年度の実績がある	
0	実績なし		
ホ	⑤短時間勤務に係る労働条件		取組の具体的な内容
	1	就業規則等で定めている	
	2	就業規則等で定めており、前年度の実績がある	
0	実績なし		
ヘ	⑥時差出勤制度に係る労働条件		取組の具体的な内容
	1	就業規則等で定めている	
	2	就業規則等で定めており、前年度の実績がある	
0	実績なし		
ト	⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度		取組の具体的な内容
	1	就業規則等で定めている	◎時間単位取得を活用した人数33名 ◎計画的付与制度を活用した人数10名 ※取得した制度 有給休暇の時間単位取得 計画的付与制度 取得した期間：4月1日～3月31日 取得日数・時間 5から11日 1から4時間
	● 2	就業規則等で定めており、前年度の実績がある	
0	実績なし		
チ	⑧傷病休暇等の取得に関する事項		取組の具体的な内容
	1	就業規則等で定めている	◎傷病休暇等を取得した人数1名 ※取得した内容：けが 取得した期間：1月14日～4月2日 就業時間：10時00分～15時00分 職務内容：調理補助
	● 2	就業規則等で定めており、前年度の実績がある	
0	実績なし		

合計点 8 点

評価内容	合計点に応じてスコアを判定	スコア
● 一	合計点が八点以上である	35
二	合計点が六点又は七点である	25
三	合計点が一点以上五点以下である	15

IV 支援力向上のための取組

35 点

前年度(トに該当する場合にあっては、当該前年度の末日から起算して過去三年間)において、次のイからチまでのうち五つの項目に該当する場合に応じ、それぞれ当該項目に定めるところにより算定した点数(以下この事項において「合計点」という。) **※任意の5項目を選択 ※取組の具体的な内容について記入**

イ	①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会		取組の具体的な内容
	1	参加した職員が1人以上であった	◎研修実施回数外部 2回/内部 2回 対象職員数 10人 うち研修受講者数 10人 ※研修名 障害者が働きやすい環境とは 研修講師榎元 淳子氏 実施日・受講者数12月29日10人
	● 2	参加した職員が半数以上であった	
0	実績なし		
ロ	②研修、学会等又は学会誌等において発表		取組の具体的な内容
	1	1回の場合	発表している回数2回 ※研修、学会等名 第6回北九州フォーラム 実施日2月18日 ※研修、学会研修名 第14回全国障害者就労支援ローカルネットワーク 実施日3月11日
	● 2	2回以上の場合	
0	実績なし		
ハ	③視察・実習の実施又は受け入れ		取組の具体的な内容
	1	どちらか一方のみの取組を行っている	※先進的事業者名 カムラック 実施日/参加者数6月21日3人 ※他の事業所名 滋賀県就労継続支援A型事業所協議会 実施日/参加者数2月23日9人
	● 2	いずれの取組も行っている	
0	実績なし		
ニ	④販路拡大の商談会等への参加		取組の具体的な内容
	1	1回の場合	※商談会等名 岩田産業展示会 西原商会展示会 主催者名岩田産業 西原商会 日時7月5日 9月6日 内容 メニュー開発
	● 2	2回以上の場合	
0	実績なし		
ホ	⑤職員の人事評価制度		取組の具体的な内容
	2	人事評価結果に基づき定期に昇給を判定する制度を設け、全ての職員に周知している	人事評価制度の制定日●年●月●日 人事評価制度の対象職員数●名 うち昇給・昇格を行った者●名 当該人事評価制度の周知方法 ○○○
	0	実績なし	
● 0	実績なし		
ヘ	⑥ピアサポーターの配置		取組の具体的な内容
	2	ピアサポーターを職員として配置している	※配置期間 ●月●日～●月●日 就業時間 職務内容○○○
	● 0	実績なし	
0	実績なし		
ト	⑦第三者評価		取組の具体的な内容
	2	過去3年以内の福祉サービス第三者評価を受審しており、結果を公表している。	※評価を受けた日●月●日 第三者評価機関○○○
	0	実績なし	
● 0	実績なし		
チ	⑧ISOが制定したマネジメント規格等の認証等		取組の具体的な内容
	2	都道府県知事が適当と認めるISOが定めた規格その他これに準ずるもの認証を受けている	※認証を受けた日●月●日 規格等の内容○○○
	0	実績なし	
● 0	実績なし		

合計点 8 点

評価内容	合計点に応じてスコアを判定	スコア
● 一	合計点が八点以上である	35
二	合計点が六点又は七点である	25
三	合計点が一点以上五点以下である	15

V 地域連携活動

10 点


※「公表方法」、各要件の「有」の合計4つに●をつけた場合にのみスコアが表示

評価内容				
前年度において、当該就労継続支援A型事業所等が地域の事業者と連携した付加価値の高い商品開発、企業若しくは官公庁等での就労又は生産活動その他の地域社会と連携した活動を行い、当該活動の内容及び当該活動に対する当該事業者又は当該企業若しくは官公庁等の意見を記載した報告書を作成し、インターネットの利用その他の方法により公表していること。				
報告書の作成	●	有	無	※次ページに添付
企業等からの意見等	●	有	無	
公表の有無	●	有	無	
公表方法	●	ホームページに掲載 (アドレスを記載してください)		
		URL	http://www.mirai-support-station.com/	
		その他 (具体的な方法を記載してください)		
		具体的な方法		

就労継続支援 A 型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	未来サポートステーション北九州
住 所	北九州市門司区吉志一丁目33番10号
電話番号	093-481-3456

事業所番号	4017600380
管理者名	宮本 千栄
対象年度	令和4年度

地域連携活動の概要	
<p><活動内容></p> <p>下吉志公園や付近や歩道の清掃・吉志天疫神社等 地域行事がある度 唐揚げや、焼き鳥のお店などを出店及び清掃 延べ 100人程度</p>	<p><活動の様子></p> 
<p><目的></p> <p>地域との交流</p>	
<p><成果></p> <p>利用者の皆さんと地域の交流が広がっています</p>	

連携先の企業等の意見または評価			
<p>下吉志公園や付近や歩道の清掃は、年間を通して行って頂いており、公園を利用する子ども達や、高齢者の皆さんなどに感謝されています。校区が管理している畑や花壇等の作業もよく手伝って頂きます。また、校区のイベントや祭りにも、唐揚げや、焼き鳥のお店などを出店してもらっており。地域の皆さんから差し入れを頂いたりして、利用者の皆さんと地域の交流が広がっています。</p>			
連携先企業名	松ヶ江南校区自治総連合会	担当者名	会長 松本征幸

就労継続支援 A 型 基本報酬に関する届出書
及び自己評価結果等の公表に係る届出書

1 事業所情報

事業所番号	4017600380									
事業所名称	未来サポートステーション北九州									
事業の種別	●	就労継続支援 A 型	指定年月日	H20	年	2	月	1	日	

2 公表状況

公表の有無	有	無	公表年月日	2024	年	5	月	1	日	
公表方法 (該当するものに●)	ホームページに掲載 (アドレスを記載してください)									
	URL	https://www.mirai-support-station.com/								
	その他 (具体的な方法を記載してください)									
	具体的な方法									

3 基本報酬算定区分

(Ⅰ) 労働時間	40	点
(Ⅱ) 生産活動	60	点
(Ⅲ) 多様な働き方	15	点
(Ⅳ) 支援力向上のための取組	15	点
(Ⅴ) 地域連携活動	10	点
(Ⅵ) 経営改善計画	0	点
(Ⅶ) 利用者の知識・能力向上	10	点

合計

150

点

／ 200 点

備考 ・ パソコン等の不具合等で、やむを得ず、一時的にインターネット以外の方法により公表している場合は、会報等を添付した上で、会報等の配布先、公表先を記載の上、現に公表されている箇所の写真を添付し提出してください。また、早急にインターネット上での公表が行われなかった場合、減算となる可能性があります。

- ・ 自己評価結果等の公表にあたっては、別添 4 2 - 1 から 4 2 - 4 までの各様式を使用してください。
- ・ 地域貢献活動の報告書の公表については、別添 4 2 - 3 の様式を使用してください。
- ・ 利用者の知識・能力向上に係る実施状況の報告書については別添 4 2 - 4 を使用してください。

就労継続支援A型事業所におけるスコア表（全体）

※ 緑色のセルのみ入力してください

事業所名: 未来サポートステーション北九州
住所: 北九州市門司区吉志一丁目33番10号
電話番号: 093-481-3456

事業所番号: 4017600380
管理者名: 宮本 千栄
対象年度: 令和5年度

(I) 労働時間
①1日の平均労働時間が7時間以上
②1日の平均労働時間が6時間以上7時間未満
③1日の平均労働時間が5時間以上6時間未満
④1日の平均労働時間が4時間30分以上5時間未満
⑤1日の平均労働時間が4時間以上4時間30分未満
⑥1日の平均労働時間が3時間以上4時間未満
⑦1日の平均労働時間が2時間以上3時間未満
⑧1日の平均労働時間が2時間未満
40点

(IV) 支援力向上 (※)
①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会
②研修、学会等又は学会誌等において発表
③視察・実習の実施又は受け入れ
④販路拡大の商談会等への参加
⑤職員の人事評価制度
⑥ピアサポーターの配置
⑦第三者評価
⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等
小計 (注2) 5点

(II) 生産活動
①過去3年の生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賞金の総額以上
②過去3年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賞金の総額以上
③過去3年の生産活動収支のうち前年度における生産活動収支のみが前年度に利用者に支払う賞金の総額以上
④過去3年の生産活動収支のうち前々年度における生産活動収支のみが前々年度に利用者に支払う賞金の総額以上
⑤過去3年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賞金の総額未満
⑥過去3年の生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賞金の総額未満
60点

(III) 多様な働き方 (※)
①免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度
②利用者を職員として登用する制度
③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律
④フレックスタイム制に係る労働条件
⑤短時間勤務に係る労働条件
⑥時差出勤制度に係る労働条件
⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度
⑧傷病休暇等の取得に関する事項
小計 (注1) 5点

(V) 地域連携活動
地域の事業者と連携した付加価値の高い商品開発、企業や官公庁等での生産活動等地域社会と連携した活動を行い、その結果をインターネット等により公表している
10点

(VI) 経営改善計画
経営改善計画の提出を求められていない、または、経営改善計画の提出を求められているが、指定された期日までに提出している。
0点

(VII) 利用者の知識・能力向上
前年度において、就労継続支援A型事業所等が利用者の知識及び能力の向上に向けた支援を行い、当該支援の具体的な内容を記載した報告書を作成し、インターネットの利用その他の方法により公表している。
10点

(※) 8項目の合計点に応じた点数 (注1) 5以上:15点、4~3:5点、2点以下:0点

項目別スコア表: 労働時間(40), 生産活動(60), 多様な働き方(5), 支援力向上(5), 地域連携活動(10), 経営改善計画(0), 利用者の知識・能力向上(10)

合計スコア: 150点 / 200点

就労継続支援A型事業所におけるスコア表(実績I~IV、VI)

(I) 労働時間

前年度(5年度)

雇用契約を締結していた全ての利用者における延べ労働時間	34,617	時間
-----------------------------	--------	----

雇用契約を締結していた延べ利用者数	8,561	人
-------------------	-------	---

利用者の1日の平均労働時間数	4	時間
----------------	---	----

(II) 生産活動

会計期間(4月~3月)

前々々年度(3年度)

生産活動収入から経費を除いた額	36,039,018	円
-----------------	------------	---

利用者に支払った賃金総額	33,171,499	円
--------------	------------	---

収支	2,867,519	円
----	-----------	---

前々年度(4年度)

生産活動収入から経費を除いた額	33,846,624	円
-----------------	------------	---

利用者に支払った賃金総額	32,976,645	円
--------------	------------	---

収支	869,979	円
----	---------	---

前年度(5年度)

生産活動収入から経費を除いた額	33,078,228	円
-----------------	------------	---

利用者に支払った賃金総額	31,804,032	円
--------------	------------	---

収支	1,274,196	円
----	-----------	---

(III) 多様な働き方

前年度(5年度)における取組(全体表「(III)多様な働き方」の各項目において「就業規則等で定めている」と選択した場合に記載)

①免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度

◎免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度を定めている	<input checked="" type="checkbox"/>
------------------------------	-------------------------------------

②利用者を職員として登用する制度

◎利用者を職員として登用する制度を定めている	<input checked="" type="checkbox"/>
------------------------	-------------------------------------

③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律

在宅勤務に係る労働条件及び服務規律に関する制度を定めている	<input type="checkbox"/>
-------------------------------	--------------------------

④フレックスタイム制に係る労働条件

◎フレックスタイム制に係る労働条件を定めている	<input checked="" type="checkbox"/>
-------------------------	-------------------------------------

⑤短時間勤務に係る労働条件

◎短時間勤務に係る労働条件を定めている	<input type="checkbox"/>
---------------------	--------------------------

⑥時差出勤制度に係る労働条件

◎時差出勤制度に係る労働条件を定めている	<input type="checkbox"/>
----------------------	--------------------------

⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度

◎有給休暇の時間単位取得または、計画的付与制度を定めている	<input checked="" type="checkbox"/>
-------------------------------	-------------------------------------

⑧傷病休暇等の取得に関する事項

◎傷病休暇等の取得に関する事項を定めている	<input checked="" type="checkbox"/>
-----------------------	-------------------------------------

(IV) 支援力向上

前年度(5年度)における取組(全体表「(IV)支援力向上」の各項目に取組あり選択とした場合に記載)

①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会

◎研修計画を策定している	<input checked="" type="checkbox"/>
◎外部研修、もしくは内部研修を1回以上実施している。	<input checked="" type="checkbox"/>
※研修名	他人との接し方、向き合い方
研修講師	樋口恵美代氏
実施日・受講者数	1月10日 6人

②研修、学会等又は学会誌等において発表

◎研修、学会等又は学会誌等において1回以上発表している	<input checked="" type="checkbox"/>
※研修、学会等名	第7回北九州フォーラム
実施日	2月17日
※学会誌等名	
掲載日	月 日
発表テーマ	

③視察・実習の実施又は受け入れ

◎先進的事業者の視察・実習の実施している	<input checked="" type="checkbox"/>
◎先進的事業者の視察・実習を受け入れている	<input checked="" type="checkbox"/>
※先進的事業者名	那珂川キッチン
実施日/参加者数	3月23日 2人
※他の事業所名	門司特別支援学校保護者
実施日/参加者数	10月12日 30人

④販路拡大の商談会等への参加

◎販路拡大の商談会や展示会等へ1回以上参加している。	<input checked="" type="checkbox"/>
※商談会等名	マキタ展示会
主催者名	株式会社タカハシ
日時	3月22日
内容	畑活用し、仕入れ原価を抑えるために参加し、育て方など勉強になる

⑤職員の人事評価制度

◎職員の人事評価制度を整備している	<input checked="" type="checkbox"/>
◎当該人事評価制度を周知している	<input checked="" type="checkbox"/>
人事評価制度の制定日	6年10月1日
人事評価制度の対象職員数	5名
うち昇給・昇格を行った者	4名
当該人事評価制度の周知方法	回覧により周知

⑥ピアサポーターの配置

◎ピアサポーターを配置している	<input type="checkbox"/>
◎当該ピアサポーターは「障害者ピアサポーター研修」を受講している	<input type="checkbox"/>
※配置期間	月 日~ 月 日
就業時間	
職務内容	

⑦第三者評価

◎前年度末日から過去3年以内に福祉サービス第三者評価を受けている	<input type="checkbox"/>
※評価を受けた日	月 日
第三者評価機関	

⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等



◎ISOが制定したマネジメント規格等の認証を受けている	<input type="checkbox"/>
※認証を受けた日	月 日
規格等の内容	

(VI) 経営改善計画

◎指定権者である都道府県(指定都市・中核市)へ、経営改善計画書へ提出した。	<input checked="" type="checkbox"/>
※受理日	年 月 日

就労継続支援A型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	未来サポートステーション北九州（お食事処遊心）	事業所番号	4017600380
住所	北九州市門司区吉志1丁目33番10号	管理者名	宮本 千栄
電話番号	093-481-3456	対象年度	令和5年度


地域連携活動の概要	
<p><活動内容></p> <p>活動場所 下吉志公園、まつがえ荘、天疫神社他 実施日程 6月、10月の清掃他、行事の度 地域と連携した清掃及びイベントでの物品販売等 利用者数 5～10名程度</p>	<p><活動の様子></p>  
<p><目的></p> <p>地域連携活動のねらい 地域に溶け込んでいき、皆さんにご協力いただけるようにしていく 地域にとってのメリット 公園などの安全管理。祭りでの交流 対象者にとってのメリット 地域の方に声をかけられ、喜んでいる</p>	
<p><成果></p> <p>実施した結果 地域との交流が増えてきている 得られた成果 親しく話しかけていただけるようになった 課題点 マンネリ化せず、毎回新鮮な気持ちで継続して行く</p>	

連携先の企業等の意見または評価			
<p>下吉志公園や付近の歩道などの草刈りや清掃を、年間を通して行って頂いており、公園を利用する子ども達や高齢者の皆さんに大変感謝されているとことです。市民センターのイベントや地元の祭りなどへボランティアとしての参加や唐揚げや、焼き鳥などを出店してもらっており味も含めて好評であります。地域の皆さんから、利用者の皆さんに差し入れを頂いたりして、交流が広がっています。</p> <p>こうした活動を、評価して、北九州市の第1回自治会活動応援事業者に推薦し、北九州市から認定されたところです。</p> <p>今後とも、より交流を深めていければと思っています。</p>			
連携先企業名	松ヶ江南校区自治連合会	担当者名	会長 松本征幸

就労継続支援 A 型事業所における利用者の知識・能力向上に係る実施状況報告書

事業所名	未来サポートステーション北九州 (お食事処遊心)	事業所番号	4017600380
住 所	北九州市門司区吉志1丁目33番10号	管理者名	宮本 千栄
電話番号	093-481-3456	対象年度	令和5年度

利用者の知識・能力向上に係る実施概要

<p><活動内容></p> <p>法人本部 令和6年3月1日 心理的向上を図り、次のステップを目指してもらおう 利用者数 10名</p>	<p><活動の様子></p> 
<p><目的></p> <p>管理職まで経験した人の苦勞を知り、みんな同じと少しでも思ってもらおう 健常者との違いと知っていることの溝が少なくなった</p>	
<p><成果></p> <p>実施した結果 表情もよく、話しかける利用者が増えている 得られた成果 健常者も同じような悩みがある事を理解したとのこと 課題点 心理的問題が大きいと感じた</p>	

連携先の企業や事業所等の意見または評価

<p>元、清滝保育所の園長であった、樋口恵美代さんより問題提起がありました。樋口さんのほうから、私自身、ひどい人見知りで、学校や保育になってから、人とかかわることが苦手だった。しかし、子供たちとかわる中で、このままでは、いけないと感じ、少しずつ努力して関わるようになっていきました。いつの間にか、管理職になり、多くの人と関わり、人前で話すことも多くなり積極的にいろんな地域のイベントに参加するようになりました。</p> <p>皆さんも、人と関わるのが苦手という人がいると思いますが、私の経験からするとまずは、話を始めるところからではないでしょうか。恥ずかしがらずに、まずは話してみるそこからだと思います。頑張りましょう。その後、意見交換となりましたが、利用者の中に、元保育士さんがおり、現役時代の苦勞などが話されました。利用者の中には、私と同じ、人付き合いが苦手な方が、仕事を行う上で、話しかけることは大切だと言ってくれているので、このような悩みがある方に今後も相談に乗っていく機会を続けたいと思っています</p>	
連携先企業 (担当者)	樋口恵美代氏

利用者からの意見・評価

<p>今回の話は、人と上手く付き合うと仕事も楽しくなると感じました。自分も話しかけるようにしていき、将来、一般就労できるように頑張りたいと思いました。他</p>
--